

# 太陽光エネルギーを使うぞ

南丹「田歌舎」が発電設備

スローフードのレストランや自然体験ツアーを運営する南丹市美山町田歌の「田歌舎」で、「おひさま発電所」と名付けた太陽光発電設備が完成した。NPO法人「きょうとグリーンファンド」（京都市下京区）と協力し、設置費の一部は寄付金で賄った。田歌舎は「地域に自然エネルギーの輪を広げていきたい」としている。

京のNPOで寄付集め

## スローライフ実践



太陽光発電のパネルを設置した田歌舎の藤原さん（南丹市美山町）

美山町は大飯原発から30分圏内でもあり、田歌舎として、自然エネルギーのさらなる活用を目指す中で取り組んだ。

縦1枚、横1・2枚の発電パネル計67枚を屋根上や土手に設置した。発電力は約10キロワットで、すべて電力会社に売電。災害時には田歌舎で使用できる。

設置費は約400万円。自己資金のほか、太陽光発電の普及に取り組み同ファンドを通じて1口10万円の協力を募り、19口集めた。提供者には、売電収入を基に1口9万円が5年後に返済され、美山の農産物セットも贈呈する。売電により、10年前後で全費用が賄えるという。

同ファンドの太陽光発電設置は府内16カ所目、美山町では2カ所目。21日午後2時から点灯式がある。田歌舎ではまきストーブや湧き水の水道も導入しており、藤原善代表(39)は、「環境学習ツアーを開催するなどして、自然エネルギーの実践を発信したい」と話している。

(山下悟)